



こころざればよい花が咲く肥料の使い方

ダルマつくり・ジャンボ福助つくり

時期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育状況	親株の管理	サシ芽	4号~5号 鉢上げ	7号定植	花芽分化	着蕾・開花期
土	さし芽用土 菊養土育苗用 又は プレミアム菊養土	菊養土 又は 菊養土	菊養土 定植用 又は プレミアム菊養土	菊養土 増し土用 又は プレミアム菊養土	菊養土 菊養土	※7号鉢は約4リットル土が入ります ※増し土又はプレミアム菊養土に“くんたん”20%を加えてもよい
乾燥肥料		りんのちから 又はスプレー菊の肥料 4.5号鉢 10g 5号鉢 15g	菊養源 材料入荷待ち	アミノパワー または 菊養源6-6-5 15gを10日間隔で全面バラまき		※管物は定植後もスプレー菊の肥料、又は菊養源3-7-6がおすすめで ※アミノパワーは菊養源6-6-5に置き換えても良い (注)管物は $\frac{1}{3} \sim \frac{1}{2}$ に減らす
液体肥料	みらい 又は アミノP.K	発根が始まったら 1000倍で散布	Pグリーン サシ芽の鉢上げ前、600~800倍でタップリと灌水	アミノスーパー-631 みらいは500~1000倍で5~7日間隔で灌水 アミノスーパー-631は1000倍で5~7日間隔で灌水 ※追込時は500倍に濃度を上げ適宜灌水		みらい 又は アミノPK 1000~1500倍で適宜灌水 (注)管物は2000倍以上
活力剤	あつさしらす 500~1000倍で10日間隔	かがやき 500~1000倍で ※生育全期間	元気に専科 土に活	あつさしらす 500~1000倍で10日間隔 かがやき 500~1000倍で15日間隔 液肥と混合	天然ミネラル ★生育全期間に使用します。 ・根の回復 1000倍で2~3日 間隔で3~5回 ・根の活性化 800~1000倍で7~10日間隔 ・根の活力向上	元気に専科・土に活 いずれも1000倍で10日間隔で灌水
肥料調整剤	P.Kマグ エヌトール	Pグリーン チッ素過剰症改善 徒長防止500~600倍で葉面散布 又は灌水適宜使用	※エヌトールは肥料が多過ぎ土に残った場合に適宜使用 (500倍)	P.Kマグ 10グラム Pグリーン 500~600倍で葉面散布又は灌水適宜使用	P.Kマグ 10グラム 2~3回	
その他	透水源 サシ穂の水上げ 2000~3000倍 (2~3時間) ★水掛け時 3000~5000倍	ネフレッシュ 発根促進 根張り向上に サシ芽用土 1ℓに対し 20~30g 育苗用土 1ℓに対し 20~30g	キクにキンコン 根に3~4グラムをまがして鉢上げ	透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍	ネフレッシュ ※増し土1リットルに対し 20~30g ※9月中~下旬の増し土時 根元に10~20g散布 (上根の発生促進に)	こくなある 1000倍で4~5回灌水 (注)管物は1500~2000倍以上

福助つくり

時期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育状況	親株の管理	サシ芽	5号定植	花芽分化	着蕾・開花期	
土	さし芽用土 菊養土	菊養土	菊養土 増し土	菊養土 菊養土	菊養土	※5号鉢は約1.3リットル土が入ります ※増し土又はプレミアム菊養土に“くんたん”20%を加えてもよい
乾燥肥料		りんのちから 又はスプレー菊の肥料 ※5号鉢に鉢上げ 第1回のみ	7~8センチポット 5g 5号に鉢上げ 10g	菊養源 材料入荷待ち	アミノパワー または 菊養源6-6-5 2回目以後は10gを10日間隔で 全面バラまき (注)管物は $\frac{1}{3} \sim \frac{1}{2}$ に減らす	※管物は定植後もスプレー菊の肥料でも良い ※アミノパワーは菊養源6-6-5に置き換えても良い
液体肥料		みらい 発根が始まったら1000倍で散布	Pグリーン サシ芽の鉢上げ前、600~800倍でタップリと灌水	アミノスーパー-631 みらい 500~1000倍で灌水 アミノスーパー-631 1000倍で灌水		みらい 1000~1500倍で適宜灌水 (注)管物は2000倍以上
活力剤	あつさしらす 500~1000倍で10日間隔	かがやき 500~1000倍で15日間隔 液肥と混合 ※生育全期間	元気に専科 土に活	天然ミネラル ★生育全期間に使用します。 ・根の回復 1000倍で2~3日 間隔で3~5回 ・根の活性化 800~1000倍で7~10日間隔 ・根の活力向上	元気に専科・土に活 いずれも1000倍で10日間隔で灌水	
肥料調整剤		P.Kマグ エヌトール ※エヌトールは肥料が多過ぎ土に残った場合に適宜使用 (500倍)	P.Kマグ 5~10グラム Pグリーン 500~600倍で葉面散布又は灌水適宜使用	P.Kマグ 5~10グラム 2回		
その他	透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍	キクにキンコン 根に3~4グラムをまがして鉢上げ	透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍	こくなある 1000倍で4~5回灌水 (注)管物は1500~2000倍以上		

◎土は“菊養土”又は当社の推奨する土づくりをした場合の肥料の使い方が前提となっています。

